

生活の中の安全な道路とは -歩車共存は可能か-

前回の安全をテーマとしたセミナーでは、（一財）土木研究センターの安藤氏より「交通事故状況と交通安全対策」についてのご講演をいただき、パネルディスカッションでは、交通事故削減に向けた取り組みと対策などが話題が中心となりました。今回はこれらの取り組みについて、国土交通省で進められている様々な政策や対策に目を向け、これからの日本の生活道路のあり方について議論したいと思います。海外では「シェアード・スペース」という歩車共存の思想も生まれていますが、今回、埼玉大学の久保田先生には、我が国における生活道路の安全とはどのようなものか、最近の状況をもとにご講演をいただきます。

日時：平成29年4月26日（水）18：00～20：00

場所：日本大学理工学部

駿河台キャンパス1号館132号室

東京都千代田区神田駿河台1-8-14（地図裏面）

参加費：PDC会員 ¥500 一般 ¥1,000 学生 無料

※セミナー終了後、同会場内で懇親会を予定しております（参加費3,000円程度）

講師・パネリスト プロフィール

久保田 尚氏

くぼた ひさし / 埼玉大学大学院理工学研究科環境科学・社会基盤部門教授。1982年横浜国立大学工学部土木工学科卒業。1984年東京大学大学院工学系研究科都市工学修士課程修了。1988年東京大学大学院工学系研究科都市工学博士課程修了。工学博士。同年より埼玉大学助手。同専任講師、助教授を経て、2005年4月より埼玉大学教授。専門は地区交通計画、都市交通計画で、交通まちづくりの提唱、商店街や住宅地の地区交通計画、観光地の交通問題、交通静穏化のための物理的デバイス（ランプ、ライジングボラード）、休日交通問題、TDM（交通需要マネジメント）、TDO（交通需要おもてなし）、交通主体の行動・心理と交通計画との関連、交通計画と住民参加、政策支援システムとしての交通シミュレーションシステムの利用、ITS（高度交通情報システム）に関する研究などに取り組んでおられます。

パネリスト

天野 光一氏（日本大学理工学部まちづくり工学科 教授）、

須田 武憲氏（㈱G K 設計 代表取締役社長）、中野 竜氏（㈱コトブキ 営業開発室長）

コーディネーター

富岡 仁計氏（㈱住軽日軽エンジニアリング デザインチーム長）

※当セミナーは、都市計画CPDプログラムです（2単位）。



参加お申し込みは、PDC事務局（info@pdc-j.org）までメールにてお名前、所属を添えてお申し込み下さい。

懇親会の参加有無もお申し込み時にご連絡ください。当日受付にて集金させていただきます。



会場地図

日本大学工学部 駿河台キャンパス 1号館132号室

東京都千代田区神田駿河台1-8-14



パブリックデザインセミナーとは・・・

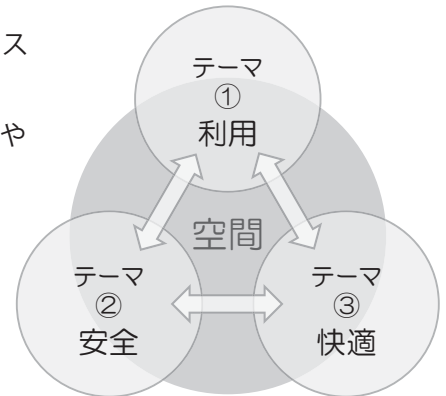
「公共空間のデザイン、制度や基準、製品等の現状を知り、新たなパブリックデザインのあり方を考える場」です。

対象 道路、公園、水辺、公開空地等のパブリック・スペースを対象とします。

テーマ 「利用」「安全」「快適」の3つのテーマで毎回専門家や実務経験者による講義や意見交換を企画します。

目標 オリンピック開催を一つのターゲットとし、2020年と設定します。

開催日程 第4回 2017年1月 テーマ「利用」（開催済）
第5回 2016年4月 テーマ「安全」（4月26日）
第6回～概ね月1回の開催を予定



一般公開プログラム

パブリックデザインセミナー（各テーマで開催）

テーマ① 利用	パブリック・スペースをもっと市民が楽しく利用するためにはどうしたらよいか
テーマ② 安全	道路等の見えない様々なルール（安全基準）やガイドラインをどう解釈すると良いか
テーマ③ 快適	空間そのもの、空間に設置される製品がもたらす快適性をどう創出していくか

PDCへの入会

アイデアの実現化

連携

PDCメンバー限定プログラム

PDCでは、パブリックデザインセミナーとは別に、「プロジェクト分科会」を順次立ち上げ、活動していきます。

プロジェクト分科会(例示)

- 新たなスタンダードとなる公共製品のトータルデザインの検討
- 公共施設・空間の規制緩和の検討（イベント、占用、収益等）
- 公共空間を活用したにぎわい創出の検討（オープンカフェ、マーケット等）
- 移動式店舗等のにぎわいを生む装置の検討
- 新しい道路安全システムの開発検討
- 快適で安全な移動に関する検討（サイン、ユニバーサルデザイン等）
- 行動心理に即した公共施設・空間のデザイン

など